

## 國際労働會議を彈劾す

●例年の怪物又現る今年も亦例の怪物が現れた、俺達労働者は此の怪物に嘯まされるか、迷はされるか、この怪物を蹴飛ばして再び起つ事の出来ない如くにしてやるかの一を選ばねばならぬ。生兵法は大創の本自らの力を考慮せず此の會議利用策を主張する馬鹿や、騙されて自らの骨血に正義とか言ふ鬩斗をつけて資本主義に差し上げるの愚を繰返へさない爲め、俺達は今諸君に

●國際労働會議の正體を告げやう、そもく此の會議は往年バイ平和會議の時、各國の資本家とその政府と、その御用労働組合首領とが相談して造つたもので平易に言ふならこれは資本家系統によつて造られたもので國際資本家會議と呼んでも些の異論もない筈である、こんな資本家會議に何の必要があつて碌でもない代表選出なんて騒ぐのだ、協調會の荒木が出やうが妥協主義者の久留が出やうが俺達には何の關係もないのだ、彼等は資本家により選出され、資本家の爲めに盡すのだ。

●親愛なる兄弟労働者諸君！以上により君等はこの會議の正體を知る事が出来た筈だ、俺達の幸福は俺達自身に依りてなされる、労働階級幸福の源泉は労働組合にある。

●國際労働會議を排撃せよ、然して戰鬥的労働組合の堅城に立て籠れ。

大正十二年八月

日本労働總同盟